

## 第2回大規模イベントにおける医療・救護計画ガイドライン改定部会 委員からの御意見一覧

委員名	御意見内容
山本部会長	<p>○災害医療コーディネーターや災害拠点病院等、都にはしっかりとした体制があるので、ガイドラインに上手く反映させていくことも重要</p> <p>○マラリアやデング熱等の感染症に関する対応について、来年、再来年の動向等を見据えた内容も視野にいれ記載していくことも重要</p>
山口委員	<p>○通常の競技会場における医務室での対応の多くは軽症である。大規模なイベントにおいて多数傷病者が発生した場合を考える場合には、医療者に求められるものは通常のものとは性質が大きく異なると考えるべき。</p> <p>○予防的な観点を追加したことはとても大事なことだと思う。</p>
大友委員	<p>○通常のイベントを行う時に発生する医療ニーズへの対応、テロ等の非常事態・災害・多数傷病者というような整理で見せ方を工夫するとわかりやすいのではないか。</p> <p>○現場（イベント会場など）に医師や看護師がいれば有事の際の対応・判断も早い段階からでき、そうした情報を関係組織に迅速に提供する仕組みも必要ではないか。</p> <p>○多数傷病者発生に備え情報発信の仕組みを明確化し、事前にどの病院に、何人運ぶなどの体制をつくりに取り組むべき。</p>
田邊委員	<p>○今後、ガイドライン本文を記載していくにあたって、AED配置、整備についても記載したらどうか。</p>
猪口委員	<p>○組織図のようなものを作成することで、今後取り入れていくであろう情報伝達のあり方なども分かりやすくなるのではないか。</p>
丸山委員	<p>○災害時における血液の安定供給という点で、特殊な血液型のスクリーニングなどイベント期間における血液供給の確保策などについて、血液事業団の検討状況などを確認してみる。</p>
田尻委員	<p>○組織間の連絡体制や連絡手段などをもう少し明確にした方が良いのではないか。</p>
瀧澤委員	<p>○主催者が主体性をもって対応、取り組むことへの書き込みが足りないように感じる</p> <p>○組織間の指揮体制をもっと明確にした方が良い。</p> <p>○多数傷病者の発生に際して、受入先医療機関の確保策をもっと明確化すべき。</p> <p>○災害という救急医療を超える体制、需要がある中でどのような対策を取るべきか等の視点をもっと加えるべきではないか。</p>